竹原駅前エリアウォーカブルビジョン(概要版)

元気と笑顔が織り成す 暮らし誇らし、竹原市。

竹原駅前エリア「Smile Park」の実現に向け実践すべき『10の戦略』

戦略 1. 歩きたくなる魅力的な景観

- ■竹原駅前周辺地区 (景観計画重点地区) に おける魅力的な景観の創出
- ■沿道店舗の明るさが滲みだす景観ルール の策定
- ■さりげないおもてなし景観の取組 (誘導施設)
- ・滞留誘発施設(テーブル・イス・花壇等)

戦略 3. 訪れた人々が楽しめる体験

- ■文化・芸術活動、趣味活動などを共有できる場や竹原らし さを感じる体験の場を創出
- ■公共空間や低未利用地などを活用したイベントの企画 (誘導施設)
- ・文化・芸術・趣味活動ができる施設 または、披露する施設
- ・多目的に利用できるレンタルスペー ス施設
- ・訪れた人達が楽しむおもてなし施設
- ・ボルダリングなど、屋内で体験できるスポーツ施設

戦略 5. ビジネスの場づくりと支援

- ■創業志向の高いプレーヤーが利用しやすいオ フィスの設置
- ■地産地消の飲食
- ■竹原駅前エリアで創業するプレーヤーに対す る重点的な資金支援

(誘導施設)

- ・創業者、事業者などを支援する施設
- ・コワーキングスペース、シェアオフィス、レンタルオフィスなど の施設 ・雑貨、服飾、日用品などの小売施設
- ・パンやケーキなどの製造小売施設

戦略 7. 訪れる人々が利用しやすい交通環境

- ■竹原駅前エリアへアクセスしやすい交通手段の確保
- ■シェアサイクルを活用した回遊性の向上
- ■歩行者を優先するためのフリンジ駐車場 の検討
- ■竹原駅前広場や待合環境等の改善
- ■本川通り周辺の歩行環境改善 (誘導施設)
- ・公共交通利用者などが快適に過ごせる待合施設

戦略 9. パブリックマインドを有した人材の育成

- ■勉強会などの気軽に『集まる場』
- ■人材の育成
- ■学生や子ども達の参加促進 (誘導施設)
- ・会議・研修施設



戦略 2. 滞在したくなる空間の演出

- ■車中心から人中心の道路空間への転換
- ■テーブルやイスなどのこだわりのある道 具の活用
- ■道路空間や公園などの公共空間を利活用 しやすくするルールを作る。
- ■フリーWi-Fi環境の整備、イベントなどに 必要なインフラ整備 (誘導施設)
- ・カフェなどの飲食施設
- ・ゲストハウスなどの宿泊施設
- 図書、ゲームなどを楽しめる施設

戦略 4. 訪れた人々の新たな交流

- ■新たな交流を生むサードプレイスづくり ■公共空間を活用した社会実験を通じて
- ■子ども達や子育て世帯の親達、高齢 者達が気軽に集い、交流できる拠点

多くの人と成功体験を共有



- ・子どもや学生達が学習できる施設
- イベントやフリーマーケットなどができるイベント施設
- ・訪れた観光客のおもてなし、利便性向上に資する施設

戦略 6.空き家・空き店舗・空き地の有効活用

- ■行政と地域が連携した、空き店舗等の二 ーズ調査
- ■空き店舗等オーナーのビジョンへの理解
- ■空き店舗等の利活用を促進するための資 金支援
- ■短期的なイベントによる成功体験の共有

戦略 8. 訪れる人々をもてなすやさしい情報提供

- ■あいふる通り入口と本川通り出口へのランドマークの配置
- ■訪れる人へのデジタルサイネージによる交通情報 や観光情報の提供
- ■総合的な観光情報発信基地の配置
- ■地域づくりを支えるメディア(あいふる通信)
- ■あいふるサポーターの募集 (誘導施設)
- ・市の観光情報や地域資源などの情報発信施設

戦略10. 持続的なまちづくり活動

- ■クリーンアップイベントの開催
- ■植栽及び花壇の改善、■組織体制の構築
- ■都市再生推進法人の認定
- (誘導施設)
- ・駅前エリアのエリアマネジメント団体など、 ビジョン実現のために取り組む団体・事業者などの事務所施設

※誘導施設:目指すべき将来像に位置付けた『竹原駅前 Smile Park はじめました!』を実現していくために、空き家・空き店舗等の積極的な活用に取り 組み、『10の戦略』に直接的・間接的な効果が期待され、駅前エリアに誘導すべき施設

■協力: 竹原駅前エリアウォーカブル勉強会、山口大学

■発行: 竹原市 ■編集: 竹原市建設部都市整備課

竹原駅前エリアウォーカブルビジョン(概要版)



竹原市 令和3年2月

竹原駅前エリアウォーカブルビジョン(概要版)

元気と笑顔が織り成す 暮らし誇らし、竹原市。

竹原駅前ウォーカブルビジョン策定の目的と取組期間

■ウォーカブルビジョン(竹原市版)とは

道路・公園などの公共空間の利活用とあわせて、空き家・空き店舗・空き地・青空駐車場(以下「低未利用地」という。) の活用、人々の交流、人々が集まるためのきっかけづくりなどの取組を進め、居心地が良く、歩きたくなる空間を創出し、 エリア全体の価値向上を図るためのビジョン

■ウォーカブルビジョン策定の目的と狙い

- ☞本市の玄関口である竹原駅前エリアにおいて、人々が公園のように居心地が良い空間に滞在しているという将来像 を、市民・事業者・行政等で共有し、まちづくりを連携して進める上での方向性を示すため、ビジョンを策定する。
- ☞多くの人々が共感できるビジョンを策定することにより、竹原駅前エリアに関連する団体、事業者、空き家・空き 店舗オーナー、地域住民などが、主体的なまちづくり活動に取り組む。
- ☞現在、竹原駅前エリアにおいて、個々に活動している住民自治組織や、任意団体、個人がビジョンの将来像実現の ために連携することにより、相乗効果を発揮する。

■ウォーカブルビジョンの取組期間

地域住民・事業者・行政などが連携し、社会実験などの短期プロジェクトや実現まで時間を要すハード整備などの長期的 なプロジェクトに取り組み、概ね10年後の将来像を考えてビジョンを策定する。

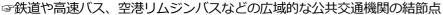
竹原駅前エリアの位置付け

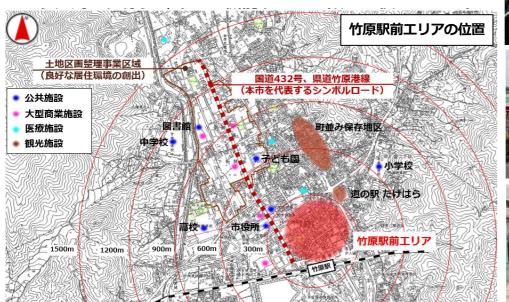
■市域全体の活力を牽引すべき"まちの中心部"として"人が集まり新たな交流"が生まれるエリア

- ☞竹原駅前エリア及び周辺には市役所、大型商業施設、病院、子育て支援施設、公園など、数多くの都市機能が集積
- ☞エリア周辺では道路や公園などの都市基盤整備や良好な居住環境を創出している土地区画整理事業を推進

■陸の玄関口である竹原駅と町並み保存地区を結び、"来訪者へのおもてなし機能"を充実させるエリア

☞江戸時代の塩田経営で栄え、当時の風情を残す歴史的建造物が多く残っている町 並み保存地区、特産品などのお土産や飲食機能を備えた道の駅たけはらなどへ多 くの観光客が来訪











竹原駅前エリアウォーカブルビジョン(概要版)

まちづくりのコンセプトを実

するために取り組んでいく5つの基本方針

元気と笑顔が織り成す 暮らし誇らし、竹原市。

目指すべき将来像と実現に向けた取組

コンセプト



竹原駅前 Smile Park はじめました!



試行的な取組による 公園のような風景

基本方針

基本方針1

『人々が歩きやすいまち』

らの5つの基本方針に基づき実践す

10 の

基本方針2

『人々が集うまち』

基本方針3 『人々が働くまち』

基本方針4 『人々にやさしいまち』

基本方針5 『持続的な活動ができるまち』

戦略

戦略 1. 歩きたくなる魅力的な景観

戦略 2. 滞在したくなる空間の演出

戦略 3. 訪れた人々が楽しめる体験

戦略 4. 訪れた人々の新たな交流

戦略 5. ビジネスの場づくりと支援

戦略 6. 空き家・空き店舗・空き地 の有効活用

戦略 7. 訪れる人々が利用しやすい 交诵環境

戦略 8. 訪れる人々をもてなすやさ しい情報提供

戦略 9. パブリックマインドを有し た人材の育成

戦略10. 持続的なまちづくり活動

基本方針図

町並み保存地区や道の駅たけはらとあいふる通りを 結ぶ本川通りでは、日常的に取り組める『さりげない おもてなし』や道路空間の高質化を図り、来訪者が歩

道路空間や空き店舗などを活用し、子どもから高齢 者までの多世代の人々が『遊び』や『学び』、『ビジネ ス』などを通じて交流する場として、多くの人々が日

ストリート全体を公園とイメージし、子ども達の遊び 場、子育て世帯やシニア世代が滞留できる場、飲食店な どのテイクアウトメニューによる飲食が楽しめる場な ど、多くの人々が滞留したくなる空間を創出する。

観光資源である町並み保存地区の玄関口として、来訪 者に対して交通・観光などに関する情報やあいふる通り へ立ち寄りたくなる雰囲気を視覚的に発信し、まちなか

